

てくてく 東海道 宿場探訪マップ



川崎宿

神奈川宿

STEP

1

追分

東海道の名残ある芝生(しばう)村を過ぎたところが追分です。ここは東海道と八王子道の分岐点で、西に進めば保土ヶ谷宿へ、北西へ進めば八王子往還です。



東海道 知っ得版 瓦



神奈川宿歴史の道

「神奈川宿歴史の道」は、当時の史跡を生かしつつ、道づくりと景観整備を新たに行い、神奈川宿を訪ね歩くことができる約4 kmの歴史の散歩道としたものです。神奈川宿の様子を示す陶画があったり、歩道や街路灯には青海波(せいがいは)のデザインが施されるなどの工夫を随所に見ることができます。また、歩道に設置された車止めには、浦島伝説にちなんで亀がデザインされており、これをたどりながら楽しく神奈川宿を訪ね歩くことができます。



せんげんじんじや
18 浅間神社

浅間社（現浅間神社）は、神奈川宿の西隣である芝生（しばう）村の入口に建っています。神社には、「富士の人穴」と呼ばれる名所があり、すでに17世紀中頃の東海道名所記にその名が見えます。



かんもん ひ
17 関門の碑

開港後、外国人が相次いで殺傷されたため、各国領事の強い要望で横浜周辺に設けられたのが、関所である関門です。神奈川宿でも東西の2箇所につくられ、厳しい警護体制がかけられました。碑が残されているのは、西側・神奈川台の関門です。



おおつな こと ひら じんじや いちりづかあと
16 大綱金刀比羅神社／一里塚跡

江戸時代、この神社は神奈川湊に関わる人々の厚い信仰を受けていました。神奈川宿の一里塚は日本橋より7つ目の塚で、江戸時代にはこの神社のすぐ脇、街道をはさんだ両側にありました。



さんぼうじ
15 三宝寺

幕末・明治初期にかけて住職であった大熊弁玉は、歌人としても知られ、開化の新事物を詠いました。



神奈川の
イベント情報

● 節分追儺式（笠程稲荷神社／2月節分）
年男・年女が町内を練り歩き、和歌を唱え、弓の弦を弾き豆を打って、悪鬼邪気を祓います。

※開催日時等は都合により変わる場合もありますので、主催者へご確認ください。

であった
られ文明

14 ほんがくじ 本覚寺 (アメリカ領事館跡)

開港当時はアメリカ領事館にあてられました。日米修好通商条約でアメリカ公使ハリスとの交渉にあたった全権委員の一人・岩瀬忠震の顕彰碑が山門の脇に建てられています。



11 そうこうじ 宗興寺

開港当時、アメリカ人宣教師で医者であったヘボン博士が、ここに施療所を開いていました。境内には、お天気井戸と呼ばれる大井戸があります。



東海道
現代
遊楽帖

幸ヶ谷公園

昔は権現山といわれ、中として知られていました。神奈川台場築造のために削られました。現在は桜の名所として知られています。



13 しんぎょうじ 甚行寺

開港当時、一時フランス公使館にあてられていました。



12 ふもんじ 普門寺

開港当時、イギリスの士官宿舎にあてられていました。



10 かながわだいばあと 神奈川台場跡

伊予松山藩が勝海舟の技術指導を受け、完成させた開港当時の砲台跡です。現在は周囲が埋め立てられ、陸続きとなっていますが、当時は稜堡のような形で海に突き出ていました。

7 しやうぶつじ 成仏寺

開港当時、「ヘボン博士」の日本で最初のアメリカ人宣教師ヘボン博士の宿舎の跡に、美しい風景が広がっていました。

9 けいうんじ 慶運寺 (フランス領事館跡)

浦島伝説ゆかりの地から、浦島寺とも呼ばれます。浦島太郎が竜宮から持ち帰ったという観音像も含まれています。

公園

といわれ、中世の古戦場
れていましたが、幕末には
築造のために山が削られ
は桜の名所として親しま



1 能満寺

鎌倉時代の創立とされています。この地の漁師が、海中から虚空蔵菩薩を拾い上げ、これを祀ったと伝えられています。



● 神奈川図書館

2 笠程稲荷神社

笠をかぶった人がこの神社の前を通ると、自然と笠が脱げてお参りをしたそうです。そのため笠脱稲荷と呼ばれるようになりました。その後、「笠脱」を「笠程」に改めたといわれています。



1 長延寺・見附跡(オランダ領事館跡)

昭和39年に移転するまで、ここに長延寺が建っていました。開港当時、オランダ領事館にあてられました。このあたりは、神奈川宿への江戸からの入口にあたります。現在は公園になっています。



4 東光寺



幕末当時、「ヘボン式ローマ字」で知られる日本で最初の和英辞典を刊行したヘボン博士の宿舎であった寺です。本堂前には美しい庭が広がります。

1 蓮法寺(フランス領事館跡)

島伝説ゆかりのものが多数あることから、浦島寺とも呼ばれます。その中に

浦島太郎の竜宮がもたらしたという音像も含まれています。



6 熊野神社

平安時代に紀伊の熊野権現を招いたといわれる神社。江戸後期には、社殿の脇で神楽が舞われたり、御輿がかつがれたり夜宮祭礼で賑わいました。



8 高札場の復元

幕府の法度や掟の書かれた札を掲げた場所が高札場です。神奈川宿では滝の川の左岸にありました。資料をもとに復元した当時の高札場を神奈川地区センター前で見ることができます。

5 金蔵院

金蔵院は、京都醍醐寺三宝院の開祖勝覚僧正により平安末期に創られた古刹です。徳川家康から十石の朱印を許されました。



4 東光寺

太田道灌の和歌「海山をへだつ東のお国より、放つ光はここもかわらじ」が寺号の由来だと伝えられています。



安全・安心な道路利用のために

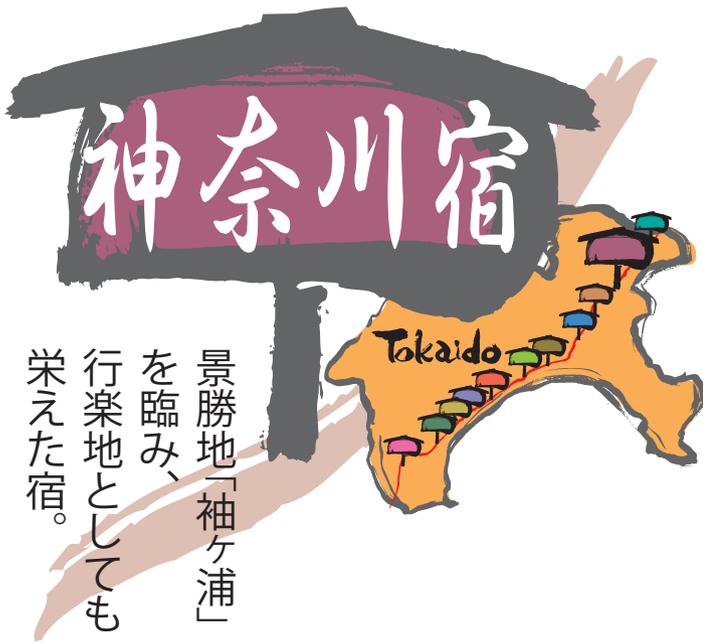
横浜国道事務所では、現在の国道1号・15号（一部区間を除く）をはじめとした、神奈川県内の主要な国道を管理し、皆さまの安全・安心な道路利用のために道路の維持・修繕などを行っています。

～道路交通安全の確保～

道路パトロールや通報などにより発見、確認された交通の安全確保など道路管理上、緊急的に措置が必要なものについて、応急的に処理（補修）を行っています。



路面のポットホール（穴）の補修状況



景勝地「袖ヶ浦」を臨み、行楽地としても栄えた宿。



昔の東海道は海に沿って延びており、ここ神奈川県には東海道有数の景勝地として知られる「袖ヶ浦」がありました。

また、湊と東海道を持つ交通の要衝として栄え、船人や旅人はもちろん、観光で訪れる客も数多く滞在。最盛期には近隣の宿の二倍の人口を抱えたといわれています。

神奈川県は安政五年（一八五八年）の日米修好通商条約では開港の場として定められ、日本で最初に各国の領事館が置かれました。

“神奈川県歴史の道”では、そんな当時の史跡の数多くが楽しめます。

道路緊急ダイヤル 緊急通報 #9910へ 24時間受付



道路の異状を見つけたらご一報ください



※特に高速道路については、異状箇所特定のため、道路名、進行方向、キロポスト、周辺の施設名等をご確認いただきますようお願い致します。※県管理の道路等については、夜間・土・日・祭日は対応出来ない場合もあります。※故障車は、高速道路のみ対象となります。※事故情報は、警察(110番)へ連絡してください。ただし、首都高速道路においては、事故を含む緊急事案全般を受け付けます。※道路交通情報については、(財)日本道路交通情報センター(TEL.03-3264-1331)へお問い合わせください。※道路交通法により運転中の通話は禁止されています。駐車場等の安全

実施機関 国土交通省関東地方整備局・東日本高速道路株式会社・首都高速道路株式会社・中日本高速道路株式会社

緊急通報以外の道路相談は道の相談室へ

「道の相談室」ホームページアドレス <http://www.ktr.mlit.go.jp/road/shihon/index00000008.htm>

●相談内容の回答については関係する機関から後日回答となる場合もありますのでご了承下さい。

発行：国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2 TEL045-311-2981

H24.3(R2.3増刷)